

第75回栃木県駅伝競走大会兼第31回栃木県中学校女子駅伝競走大会に おける新型コロナウイルス感染症対策 (日本陸上競技連盟 陸上競技活動再開についてのガイドラインより)

- ※選手の保護者から「参加同意書」を取ることを。
- ※参加する選手、顧問、競技役員は「参加者体調チェック表」を用いて、大会2週間前から体調管理を行うこと。
- ※引率者は必要事項を明記し「学校同行者体調記録表」を受付で提出すること。
- ※来場する大会関係者及び校長、教頭は「健康チェックシート」を受付で提出すること。

大会開催にあたっての基本注意事項

- 1 3密を回避（密閉空間・密集場所・密接場面）する等感染防止策を講じること。
 - (1)密閉空間（換気の悪い密閉空間である）の対策
 - ・更衣室等、公園内諸室の室内換気を徹底する。
 - (2)密集場所（多くの人が密集している）の対策
 - ・受付場所／公園内諸室／招集所／スタート待機所／選手待機所において、ソーシャルディスタンスを確保できる使用人数で制限する。
 - (3)密接場面（互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる）の対策
 - ・受付／公園内諸室／スタート待機所／選手待機所において、ソーシャルディスタンスを確保できる使用人数で制限する。また物の受け渡しは極力避け、避けられない場合は、手洗い・手指の消毒をする。
- 2 対象者毎の配慮事項
 - (1)共通事項
 - ①大会2週間前から体調管理チェック表を記入し、大会当日、各学校に提出する。
 - ※以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせることを。
 - ・体調がよくない場合（例：37.5℃以上の発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる者がいる場合
 - ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
 - ②マスク着用(会話をする場面で2メートル以上の距離が確保できない場合)、手洗い・手指消毒を徹底する。
 - ③公園内では、水分・軽食補給は可とするが食事行為は極力控える。(弁当の配布を行うが、なるべく持ち帰って食べてもらうよう促す)
 - ④飲み物の回し飲みはしない。
 - ⑤飲み残しのスポーツドリンク等を指定場所以外(例えば走路上)に捨てない。
 - ⑥密回避行動を心掛ける。
 - (2)競技者
 - ①動作前の発声は禁止とする。
 - ②招集中・移動中・待機中・ミーティング等で会話をする際、2メートル以上の距離を確保できない場合はマスクを着用する。
 - ③ウォーミングアップは個別に行う。

- ④ウォーミングアップ場(多目的広場)への観客・応援者の立入は禁止としているが、その他の場所(芝生・インターロッキング駐車場等)でウォーミングアップを行う場合、観客・応援者の立入は禁止としていないため、混雑を回避するよう注意すること。
- ④更衣室の滞在は短時間にする。(シャワールームの使用を原則禁止とする)
- ⑤運動中につばや痰を吐くことは極力行わない。
- ⑥体液の付着したゴミは自己責任で処理する。(基本的に持ち帰り)
- ⑦チーム内で新型コロナウイルス感染者が出た場合、感染者及び濃厚接触者以外の競技者で出場可能とする。

(3)主催者/競技役員

- ①競技者と接触を減らす工夫をする。
- ②3密の回避行動、マスクの着用、使い捨ての手袋を緊急時にすぐ着けられるように携帯する。
- ③用器具、通信機器、審判用具、計測機器、情報端末、その他共用物の使用後は手洗い・手指の消毒・洗顔を欠かさない。

(4)チーム関係者

- ①大声を出しての応援、集団での応援を行わない。
- ②競技者に付き添う場合の競技者との接触、ソーシャルディスタンスを確保し、会話に注意する。
- ③混雑を回避するため、競技者に付き添う者のウォーミングアップ場(多目的広場)への立ち入りを最小限にする。
- ④中継所内への立ち入りを禁止とする。

(5)観客・応援者

- ①観客・応援者の駐車場は正面駐車場のみとし、正面駐車場で健康チェックシートを提出した者だけ会場に入れることとする。(リストバンドを身に付ける)
- ②大声を出しての応援、集団での応援を行わない。
- ③観客・応援者同士でのソーシャルディスタンスを確保し、会話に注意する。
- ④ウォーミングアップ場(多目的広場)への立ち入りを禁止とする。
- ⑤中継所内への立ち入りを禁止とする。

3 競技の配慮事項

- (1) 3密の回避として、招集は招集場所で行い、速やかに出発地点に移動する。
- (2) スタート位置やフィニッシュ後に留まることを短時間とする。
- (3) 競技中・フィニッシュ後に倒れ込んだ競技者のケアは、防護体制(マスク、フェイスシールド、ゴーグル、使い捨て手袋など)を整えたスタッフで対応する。
- (4) 競技者には手指の消毒を行った後、手洗いを徹底するように促す。
競技者はレース中のマスク着用を義務づける必要はない。招集中・移動中・待機中で会話を
する際、2メートル以上の距離を確保できない場合はマスクを着用する。マスク着用による
熱中症に気をつける。
- (5) コーチが競技者に向かって話す際は、マスク着用の上、ソーシャルディスタンスを確保し話
すようにする。
- (6) 大会結果は、当日「栃木県中学校体育連盟陸上競技専門部ホームページ」にアップする。
- (7) 開会式・閉会式は行わない。
※表彰対象者は競技終了後、本部で賞品等を受け取る。

4 施設における配慮事項

- (1) 受付では全ての人がマスクを着用し対応する。
- (2) 受付には検温器を備える。また消毒液を置き、手指の消毒を実施する。

- (3) ソーシャルディスタンス確保の呼びかけ。
- (4) 常時換気の実施（窓開け・戸開けの実施）※換気できない場所は利用しない。
- (5) 諸室・招集所ではソーシャルディスタンスを確保する。
- (6) 拡声器・通信機器を利用し直接の接触回避を工夫する。
- (7) トイレ内の多くの者が接触する可能性がある箇所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）の消毒の頻度を増やす。
- (8) トイレの便座の蓋をしてから汚物を流すよう促す。
- (9) 「3密」の状態が発生しやすくなるため、全面禁煙とする。
- (10) ゴミは各自持ち帰るように事前に周知し、かつアナウンスをする。
- (11) 更衣室を使用する場合は、換気の徹底と一度に入室する人数を制限して密を防ぐ。
- (12) 発熱者が出た場合の、隔離用のテントを確保する。

5 競技会終了後の対応事項

- (1) 参加者は大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、必ず大会主催者に濃厚接触者の有無を含め報告する。
- (2) 主催者は大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症に感染の報告を受けた場合、感染の情報を入手し、大会関係者に連絡する。